

令和5年度第2回佐賀県地域職業能力開発促進協議会 議事概要

日時:令和6年2月 28 日(水)14:00~15:45

場所:佐賀第2合同庁舎3階共用大会議室2

1 開 会

○事務局から、配付資料の「出席者名簿」により委員を紹介(代理出席1名、欠席4名)。

2 報告事項

○事務局から、令和5年度公的職業訓練実施状況について報告。

3 議 題

(1)佐賀県地域職業能力開発促進協議会設置要綱の改定について

- 事務局から、配付資料に基づき「佐賀県地域職業能力開発促進協議会設置要綱(改正案)」を説明。
- 会全体で議事承認。

(2)令和6年度佐賀県地域職業訓練実施計画(案)について

- 事務局から、配布資料に基づき、令和6年度佐賀県地域職業訓練実施計画(案)について説明。
- 委員(教育・教育訓練機関等)2名から、令和6年度からの新設訓練コース等について補足説明あり。
- 委員(職業紹介事業者等)から「就職意欲を意識したキャリアコンサルティングの実施」の内容について質問があり、事務局から回答(効果検証結果に基づくもの等)。
- 会全体で議事承認。

(3)令和6年度訓練効果の把握・検証のための訓練分野について

- 事務局から、配付資料に基づき、どのような訓練分野があるのかについて説明。
- 委員(行政機関)から、「デジタル分野」と「製造分野」の2つが候補として考えられる旨発言があった。ただし、デジタル分野の訓練については、全国的に実施件数が多いが、県内では実施いただける民間事業者が少なく、現在実績を増やしていくという段階にあり、訓練の検証を実施し、改善をという段階までいっているのか疑問があるとの懸念が示された。一方で来年度から、施設内訓練において産業技術学院では「機械システム科」が、機構では「CAD ものづくりサポート科」がそれぞれ見直されるので、製造分野の効果検証も、タイミングとして考えられるのではないかと説明があった。
- 委員(教育・教育訓練機関等)から、施設内訓練については、別途アンケート等を行って改善や見直しを行っているため、「製造分野」は効果検証の対象とする必要性が低いのではないかと、との意見があった。
- 委員(教育・教育訓練機関等)から、「デジタル分野」は事業者としてもまだ試行錯誤しながら実施している状況であるため、効果検証の対象分野に選定するのはあと2~3年待っていただけるとありがたいとの意見があった。
- 最終的に(効果検証にあたっては、実際に訓練を実施する機関へ配慮しながら行う方向性を示した上で)、会長から「デジタル分野」が提案され、反対意見がなかったため、令和6年度は「デジタル分野」の訓練の効果検証を行うこととなった。

(4)教育訓練給付制度による訓練機会の確保等について

- 事務局より、配付資料に基づき、教育訓練給付制度や佐賀県内における指定講座の状況等について説明。
- 質問、意見なし。

(5)意見交換等

- 事務局から、協議会での議論を次年度の訓練計画に反映できるよう、令和6年度から夏頃に第1回協議会を開催することを提案。開催時期については、事務局で検討及び調整を行うこととなった。

4 閉 会